

令和 5 年度学校保健統計調査確報 群馬県の概要

本調査は、学校における幼児、児童、生徒の発育及び健康の状態を明らかにすることを目的として、文部科学省が毎年実施しています。

このたび、群馬県分の調査結果(確報値)を取りまとめましたのでお知らせします。

なお、令和 6 年度調査の確報については、令和 7 年 2 月の公表を予定しております。

(令和 4 年度調査から速報は公表せず、確報のみ公表しております。)

1. 調査結果のポイント

(1) 発育状態

身長	男女ともに 5 歳から 9 歳で全国平均を上回っているが、女子は 10 歳から 17 歳でほぼ全ての年齢において全国平均を下回っている。
体重	男女ともにほぼ全ての年齢において全国平均を上回っている。

(2) 健康状態

裸眼視力 (1.0 未満)	被患率は年齢が進むにつれて高くなっている。 小学校 35.8%、中学校 63.7%、高等学校 84.9%。
むし歯 (う歯)	年齢別の被患率は全国平均と概ね同様であるが、中学校においては、被患率が全国平均と比べやや高くなっている。
ぜん息	被患率は年齢が進むにつれて低くなる傾向にある。 被患率はほぼすべての年齢で全国平均を上回っている。 小学校 3.4%、中学校 2.9%、高等学校 2.1%

(3) 肥満傾向児・痩身傾向児 (出現率)

肥満傾向児	男女ともにほぼ全ての年齢で全国平均を上回っている。
痩身傾向児	男子は多くの年齢で全国平均を下回っている。

2. 調査の概要

- (1) 目的 学校における幼児、児童及び生徒の発育及び健康の状態を明らかにする。
- (2) 調査対象 県内の幼稚園 34 園(幼保連携型認定こども園を含む)、小学校 59 校、中学校(中等教育学校の前期課程を含む) 39 校、高等学校(中等教育学校の後期課程を含む) 28 校の計 160 校。

調査対象者は、満 5 歳から 17 歳までの幼児、児童及び生徒。
 発育状態の調査は、調査実施校に在籍する幼児、児童及び生徒のうちから年齢別男女別に抽出された者を対象とし、健康状態の調査は、調査実施校の在籍者全員を対象としている。
- (3) 調査事項 発育状態(身長、体重)及び健康状態(疾病・異常の有無)
- (4) 調査方法 文部科学省において、調査実施校を抽出し、学校保健安全法による健康診断の結果に基づき、4 月 1 日から 6 月 30 日の間に実施。
 ※令和 2 年度～令和 5 年度については、当該年度 4 月 1 日から 3 月 31 日に実施。